

読書の冬 四季の会の皆様による 読み聞かせに浸る子ら



四季の会の皆様による特設の舞台設定。ペープサートや早口言葉、民話の一人語り、紙芝居など、様々なスタイルでの読み聞かせを 11/28.29(木金)の両日にわたり、学年単位で体験いたしました。子ども達にとって視覚的な設定は、読み物のイメージを更に広げてくれますし、耳だけで情報を聞き取り、理解していくことが苦手なお子さんにとっては、「話がわかる」「話がみえる」という点で、とても楽しい学習の機会になったようです。とりわけ、学年によって内容が異なった「ふるさと更級の民話」は、私自身とても興味が湧きました。佐野に伝わる「片目のドジョウ」、桑原に伝わる「おようたけ」等々、地域に残る昔話は今後も大切に語り継がれていってほしいと思いました。昔むかし・・・地域に伝わる昔話を記憶の片隅にお持ちでしたら、是非お知らせください。

*読み聞かせボランティア「四季の会」の皆様には2000年9月よりお世話になっています。

そろった上履き さりげなく 履物をそろえる 子どもの姿



読み聞かせ会場となった「会議室」は、特設会場ということもあり、板張りの床にごぎを敷いた会場でした。子ども達は普段履いている上履きを脱いで、お話をお聞きしました。ごぎの縁に上履きが揃えて並べられている光景を目にして、子ども達の心の育ちを見たような気がしました。

修学旅行 6年生 首都東京へ 一泊二日の旅



台風災害は北陸新幹線車両にも及びましたが、乗車予定していた「あさま」は運休や変更なく、11月20日(水)当初予定通りに出発、計画していた全ての目的地を訪問することができました。首都東京を自らの五感を通して、見て、聞いて、食べて、感じて…直に学びを深める二日間となりました。初日二カ所目の見学地、羽田空港滑走路に隣接の機体整備工場では、40秒に一機程度の間隔で着陸する国際線の飛行機を間近で見ることができました。地球規模での物流、人の動きを秒単位で支える仕事の舞台裏へは、ヘルメット着用で入場。安全第一での臨場感あふれる見学でした。

収穫祭で餅つき 5年生より全校児童にお餅のお裾分け



5年生が取り組んできたお米の豊作を祝って11/29(金)に本格的な臼と杵を用いて餅つきを挙げる。5学年保護者の皆様には各工程で全面的にお支えいただきました。つきたてのお餅を全校児童にお裾分けいただき、全校でお祝いし感謝することができました。

- 保護者の皆様にはご多用な中、個別懇談会に御来校いただきありがとうございます。「子どもが頑張っているということが分かって嬉しかったです。」(5年生保護者)
- **第55回 SBC コンクールでの演奏をお聞きください**
10月14日(体育の日)に上田市セレスホールで開催された第55回 SBC 子ども音楽コンクールに出演した本校金管バンドのステージ演奏が、SBC ラジオにて放送されます。
冬休み中、12月29日(日)朝7時50分。是非ラジオのスイッチをオンにして、耳を傾けていただければ幸いです。
- 二学期終業まで一週間余りとなりました。インフルエンザ等感染症に油断することなく、健康を第一に学期を締めくりたいと思います。84日間の二学期の成長を振り返り、新年に向けて新たな目標設定をして、前進していきましょう。三学期始業は1月9日(木)です。